

**鳥獣保護管理捕獲コーディネーター募集要項**

**(平成30年度)**

**平成30年9月**

**環境省**

## 【平成30年鳥獣保護管理捕獲コーディネーター募集要項目次】

〔 1 〕	鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要	1
〔 2 〕	申請から登録までの流れ	2
〔 3 〕	申請の際の注意	3
〔 4 〕	応募方法	4
〔 5 〕	申請要件	5
〔 6 〕	審査方法	5
〔 7 〕	課題小論文	6
〔 8 〕	注意事項	7
〔 9 〕	個人情報の取扱いについて	7
〔 10 〕	登録期間及び更新	8
〔 11 〕	問い合わせ先	8
◎	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター登録申請書様式集	11～18
◎	承諾書	19
◎	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター登録申請書の記入要領	21～28
◎	知見審査（小論文）の書き方ポイント	29
◎	提出書類チェックシート	31

※提出書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。郵送する前に必ず31ページのチェックシートを利用してご確認下さい。

## 〔 1 〕 鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要

### ◎鳥獣保護管理に係る人材登録事業とは

近年、イノシシやニホンジカなど特定の鳥獣や外来生物の個体数の増加や生息域拡大等により、生態系や農林水産業等への被害が深刻化し、集落への出没や人家侵入などの生活環境被害や人身被害が発生しています。

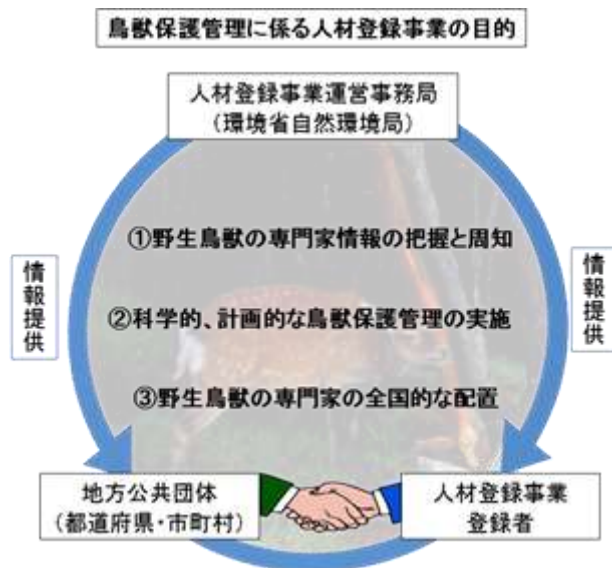
このため、全国的、広域的、地域的それぞれの視点から関係者間の合意形成を図りながら、第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画等（以下「特定計画等」という）、科学的な知見に基づいた計画的な管理を推進する必要があります。

そこで、環境省では鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程に基づき、専門的な知識や経験を有する技術者を登録して、鳥獣保護管理に関する事業を実施しようとする地方公共団体や農業団体等の要請に応じて、登録者についての情報を紹介する取組みを実施しています。

### ◎登録の対象者と登録者の情報提供

鳥獣保護管理に係る人材登録は、地方公共団体が策定する特定計画等の策定や策定の際の助言を行う「鳥獣保護管理プランナー」、鳥獣保護管理の現場において適切な捕獲方法の指導や集落等への鳥獣の出没対策や被害防止対策等の助言や指導を行う「鳥獣保護管理捕獲コーディネーター」、そして特定計画等に必要な生息状況等の調査を行いその取りまとめを行う「鳥獣保護管理調査コーディネーター」の3つの専門分野に区分されています。

この事業では、3つの専門分野ごとに、募集要項に沿って申請した者で、一定の知見や実績がある技術者を登録しています。鳥獣保護管理プランナー又はコーディネーターとして登録されると氏名、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報については、ホームページ等により公表します。また、登録者の連絡先等の情報は環境省自然環境局に備える登録簿に記載され、鳥獣保護管理に関する事業等を行おうとしている地方公共団体などの要請に応じて、情報を提供します。



### ◎鳥獣保護管理プランナー及びコーディネーターに期待される役割

各分野の登録者には、鳥獣保護管理を実施しようとする地域の地方公共団体や農業団体等に対して、鳥獣保護管理に関する取組等について専門的な知識や経験に基づく助言等を行うことが期待されます。

#### 個人登録者の専門分野とその役割

鳥獣保護管理プランナー	鳥獣保護管理に関する計画の策定や策定のための助言を行う。
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター	鳥獣保護管理の現場において、効率的な捕獲技術や被害防除の指導を行う。
鳥獣保護管理調査コーディネーター	鳥獣保護管理に関する計画を策定するための調査や計画実施後のモニタリングを行う。

※この事業は、鳥獣保護管理に係る専門家に関する情報を提供するものであって、登録によって、公的な資格や権利が付与されるものではありません。また、登録された方について活動の場を保証する制度でもありません。

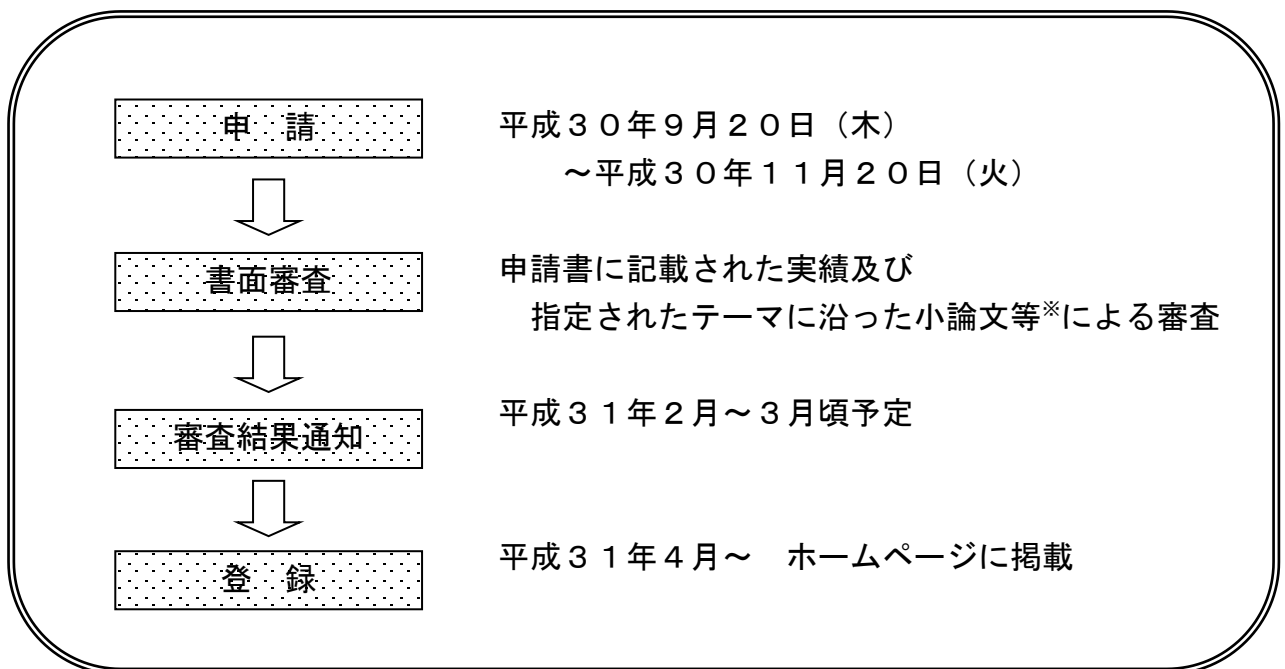
### ◎民間資格等との連携

本事業では、登録者の活用をさらに促進させる観点から既存の民間資格・認証制度との連携を進めています。相応の知見が担保されているものについては、知見（小論文）審査を免除する場合があります。

## 〔 2 〕 申請から登録までの流れ

鳥獣保護管理に係る人材登録への登録申請者は、申請期間中に、必要事項を記載した所定の申請書及び各分野で指定されたテーマに沿った課題小論文の提出※が必要です。

提出された書類および小論文は審査会によって書面審査を受け、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有する者として所定の要件を満たした者は、環境省自然環境局に備える登録簿に登録され、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業登録証」が交付されます。



※一般社団法人鳥獣管理技術協会及び一般社団法人エゾシカ協会が認定した以下の資格との連携を図り、知見（小論文）審査は免除となります。

連携する民間資格等	取得内容	知見審査免除の専門分野
鳥獣管理士	1級 準1級	鳥獣保護管理プランナー 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 鳥獣保護管理調査コーディネーター
シカ捕獲認証	DCC1	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 鳥獣保護管理調査コーディネーター

### 〔 3 〕 申請の際の注意

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、鳥獣保護管理調査コーディネーター全てにおいて、以下の各号に該当する者は、登録申請はできません。

- 1 未成年者
- 2 成年被後見人又は被保佐人
- 3 鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第十三条の規定により登録を取り消され、その日から三年を経過していない者
- 4 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律又は同法に基づく命令の規定に違反して、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から三年を経過しない者

## 〔 4 〕 応募方法

◎ 手数料：申請にかかる手数料は無料です。

### ◎ 提出書類

- ①申請書（別紙 1－2・別紙 2 を含む）（P 1 1～P 1 7 参照）
- ②申請書別紙 1－2 および別紙 2 に記載した免許・資格・経歴を証明するもの（コピー可）
- ③課題小論文（P 1 8 参照）
- ④連携する民間資格等の登録証明書もしくは認定証のコピー
- ⑤登録された場合に個人情報の一部を公開することの承諾書（P 1 9 参照）  
※詳細は「〔 9 〕個人情報の取扱いについて」をご確認下さい。
- ⑥審査結果通知用封筒（長 3（23.5cm×12.0cm）に申請者の連絡先、氏名を記入し、82円切手を貼付して下さい。）

提出書類は、①～④×4部（P 3 1 参照）

【原本 1 部＋副本（原本をコピーしたもの）3 部＝計 4 部】

⑤承諾書 1 部

⑥審査結果通知用封筒 1 通（82円切手を貼付のこと）

※申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。又提出後の差し替えは認めませんので、この募集要項の最終ページにある提出書類チェックシート（P 3 1 参照）を利用して必ず提出書類をご確認下さい。特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。

※複数の専門分野を申請する申請者の場合は専門分野ごとに、上記書類をそろえて提出して下さい。

※原本は片面コピーで作成してください。（副本は両面コピー可）

※パソコン又はワープロで作成することが望ましいですが、手書きでも可です。手書きの場合はこの募集要項をコピーし、青又は黒ボールペンを使用して作成して下さい。

※ホッチキス・感熱紙は使用しないでください。

※提出書類は一切返却いたしません。

### ◎ 申請書の入手方法

下記ホームページからダウンロードして下さい。用紙の大きさは必ず A 4 サイズとして下さい

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1.html>

◎ 受付期間

平成30年9月20日(木)～11月20日(火) (締切日の消印まで有効)

◎ 送付先

受付は郵送のみで行います。簡易書留郵便により、下記宛お送り下さい。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7

一般財団法人 自然環境研究センター内

鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局

※ 郵送する封筒には、必ず「鳥獣保護管理人材登録事業登録申請書在中」と記入して下さい。

## 〔 5 〕 申請要件

◎鳥獣保護管理捕獲コーディネーターの申請要件

①鳥獣保護管理の専門的な知見に係る要件

次のア) 及びイ) を満たすこと。

ア) 銃猟又はわな猟の狩猟免許を所持していること。

イ) 提出された課題小論文その他の添付資料について、第一種特定鳥獣保護計画、第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲等事業等における捕獲の指導に関する十分な知見が認められること。

②鳥獣保護管理の実績に係る要件

鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除の指導の経験年数が、平成30年3月31日の時点で5年以上あると認められること。

※対象鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、クマ類、カモシカ、ニホンザル、カワウ及び外来鳥獣等。

## 〔 6 〕 審査方法

審査会によって書類審査を実施します。提出された申請書およびテーマに沿った小論文から所定の要件を満たし、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有していると認められた者を鳥獣保護管理の専門家等として環境省自然環境局に備える登録簿に記載します

なお、②の実績に係る要件に関しては、申請書別紙1-2の記載項目に応じ、下記表の①～③のうち2つ以上の確認事項に当てはまり、その実績が合計5年

以上ある場合が該当します。

実務経験年数は、通算年数で計上しますが、同一期間内に複数の業務を実施していた場合、重複している期間は個別に計上せず、一つの期間としてカウントします。詳しくは、ホームページの「鳥獣保護管理に係る人材登録事業に関するQ & A」をご覧ください。

	申請書別紙 1 - 2	申請書審査項目	確認事項
①	(1)	有害鳥獣捕獲隊の隊長として指導に携わった実績	内容が十分であること
②	(2)	業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導に関わった実績	内容が十分であること
③	(3) - (ア)	鳥獣被害防除対策の指導を実施した実績	3つの項目のうちどれか1つ以上の記載があり、内容が十分であること
	(3) - (イ)	地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会の講師の実績	
	(3) - (ウ)	鳥獣保護管理員の勤務実績	

## 〔 7 〕 課題小論文

＜ 論 文 テーマ ＞ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター専用

鳥獣保護管理を実施していくなかで、個体数調整のための捕獲や有害鳥獣捕獲はどのような役割を担っているか。また、今後捕獲者が減少することを考え、個体数調整のための捕獲や有害鳥獣捕獲を効果的・効率的に行うための方法及び必要な体制についてこれまでの経験を踏まえて記述して下さい。

- ☞ 論文の事例は、様式 1 - 1 で選択した対象鳥獣について記述して下さい。
- ☞ 論文は 1, 500 字以上 2, 000 字以内にまとめて下さい。句読点は字数にカウントします。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文の最後に添付して下さい。論文タイトルは設定自由ですが字数にカウントしません。
- ☞ 冒頭に総字数、専門分野、論文タイトル（設定可）を記入して下さい。
- ☞ パソコン又はワープロを使用する場合は、できるだけ 1 ページにつき「1 行 30 字、40 行（1 ページ 1, 200 字）」とし、A4 サイズ縦判用紙に横書きで作成して下さい。
- ☞ 手書きの場合は募集要項をコピーして作成して下さい。
- ☞ 複数の専門分野を申請される場合は、該当する専門分野それぞれについて課



題小論文を提出して下さい。

☞小論文の書き方ポイントについてはP 29参照。

## 〔 8 〕 注意事項

- ☞ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業は、法律に基づく国家資格制度ではありません。
- ☞ 登録者について活動の場を保証する事業ではありません。
- ☞ 依頼を受け、登録者として鳥獣保護管理活動を行う場合、謝金等の必要経費は依頼者負担です。必要経費等の諸条件は、依頼者と直接調整して下さい。
- ☞ 登録後に申請書及び証明書等の提出書類に虚偽の記載が認められた場合には、登録を取り消すことがあります。
- ☞ 受理した申請書等の書類は、理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- ☞ 申請後、氏名、住所、勤務先、電話番号に変更が生じた場合は、申請書を変更の内容がわかるように修正の上、「(4) 応募方法◇送付先」に簡易書留郵便によりお送り下さい。(普通郵便やFAXは不可)
- ☞ 申請書等に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。また提出後の差し替え等は一切認めませんので、この募集要項の最終ページにある提出書類チェックシートを利用して必ず提出書類をご確認下さい。

## 〔 9 〕 個人情報の取扱いについて

環境省(以下「当省」という。)は、申請者から提供される個人情報について、下記のとおり取り扱います。

### 1. 個人情報の利用目的等

申請書類に記載された情報は、審査等に関わる連絡及び登録者に助言等を依頼しようとする者(以下「利用者」という。)に所定の情報を提供するために利用します。

環境省自然環境局に備える登録簿には、登録者に係る氏名、生年月日、連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス等)、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報が記載されます。

登録簿に記載された登録者の情報のうち、連絡先、生年月日以外の情報については、ホームページ等により公表する場合があります(実際にどのような情報が公表されているかは、以下のホームページでご確認下さい)。

※「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」鳥獣プロデータバンク登録者一覧

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1-1/index.html>

また、登録者の連絡先に係る情報については、利用者が利用申請書を鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に関り情

報の提供をします。

## 2. 利用及び提供の制限

当省は、個人情報を利用目的以外に利用しません。また、法令に基づく場合その他特別の理由のあるときを除き、第三者に提供しません。

## 3. 安全確保の措置

当省では、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。審査の結果、鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合の個人情報は適切に管理します。不合格となった方の個人情報は、不合格である旨を通知後に廃棄・削除します。また、申請書類一式は返却しませんので予めご了承下さい。

## 4. 業務委託

当省では、収集した情報について、その利用目的の達成のため、取扱いを委託する場合があります。その際は、個人情報を適正に取り扱っていると認められるものを選定し、契約等により個人情報保護に必要な事項を義務づけ、適切な監督を行います。

## 5. 個人情報の開示、訂正及び利用停止

収集した個人情報について、申請者本人より開示、訂正及び利用停止の請求があった場合、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第58号）の規定に基づき対応します。

## 〔 10 〕 登録期間及び更新

登録の有効期間は3年間です。必要に応じて活動実績等の報告書の提出を求められることがあります。登録の有効期間内に更新申請書を提出することで登録を更新できます。

## 〔 11 〕 問い合わせ先

- ◎ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局
- 〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7
- 一般財団法人 自然環境研究センター内
- TEL：代表 03（6659）6339
- E-Mail：chojujinzai@jwrc.or.jp

◎ 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL：代表 03（3581）3351 [内線6476]

※ 合否結果や審査結果に関する問合せには、一切応じられませんのでご了承下さい。

**鳥獣保護管理捕獲コーディネーター  
登録申請様式集**

様式第 1-1 号(第4条第 1 項関係)

\*

写真

1.縦 36～40mm

2.横 24～30mm

3.本人単身胸から上

鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書(個人用)  
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

(ふりがな) ※氏名		性別	男・女
生年月日	昭和・平成 年 月 日生( 歳)		
現住所	〒 電話番号 ( ) 携帯電話 ( ) e-mail:		
所属先	所属先名 役職名 〒 電話番号: ( ) e-mail:		
※連絡先	連絡先名 役職名 〒 電話番号: ( ) e-mail:		
※対象鳥獣	<input type="checkbox"/> イノシシ <input type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> カモシカ <input type="checkbox"/> ニホンザル <input type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種( ) <input type="checkbox"/> その他( )		
※活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄		

<p>※鳥獣保護管理活動の経歴（150字程度）</p>
<p>※特記事項、実績等に関する事項</p> <p>(1)実績に関する事項 申請書添付資料 別紙1-2(鳥獣の捕獲の指導に関わる実績)に記載。</p> <p>(2)特記事項 申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項)に記載。</p> <p>上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>環境省自然環境局長 殿</p>

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、実務経験のある種類について記載すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

(別紙1-2)鳥獣の捕獲の指導に関わる実績

\*

(1)有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として捕獲の指導を実施した実績

平成 30 年3月31日までに、有害鳥獣捕獲等の捕獲隊(鳥獣被害防止特別措置法(農林水産省)による鳥獣被害対策実施隊を含む)の隊長として捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記載する。

	◎捕獲隊の隊長として捕獲の指導に関わった期間の合計	年	*
①	地方公共団体名		
	対象鳥獣		
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成      年度～      年度	
	捕獲隊の名称		
	指導内容及び成果		
②	地方公共団体名		
	対象鳥獣		
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成      年度～      年度	
	捕獲隊の名称		
	指導内容及び成果		
③	地方公共団体名		
	対象鳥獣		
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成      年度～      年度	
	捕獲隊の名称		
	指導内容及び成果		
備考	対象鳥獣はイノシシ、ニホンジカ、クマ類、カモシカ、ニホンザル、カワウ及び外来獣等		

## (2)業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績

平成 30 年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績について、指導の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。

実績の詳細		*
事業名		
履行期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月 (  か年度)	
発注機関		
受託者名		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
事業名		
履行期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月 (  か年度)	
発注機関		
受託者名		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
事業名		
履行期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月 (  か年度)	
発注機関		
受託者名		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	



## (3)－(ア)鳥獣被害防除対策等の指導を実施した実績

平成 30 年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣被害防除等の指導を実施した実績について、事業の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。

実績の詳細		*
実施主体名		
実施期間	平成 年 月 ～ 平成 年 月 ( 年 度 )	
実施地域		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
実施主体名		
実施期間	平成 年 月 ～ 平成 年 月 ( 年 度 )	
実施地域		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
実施主体名		
実施期間	平成 年 月 ～ 平成 年 月 ( 年 度 )	
実施地域		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	

(3)－(イ) 地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師の実績

①	実施年月	平成 年 月	*
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
②	実施年月	平成 年 月	
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
③	実施年月	平成 年 月	
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
④	実施年月	平成 年 月	
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
備考	講習会講師の実績を証明するもの(委嘱状等)のコピーを添付すること。		

(3)－(ウ) 鳥獣保護管理員の勤務実績

都道府県名		*
鳥獣保護管理員として勤務した年度	平成 年度 ～ 年度	
備考	鳥獣保護管理員の勤務実績を証明するもの(任命書等)のコピーを添付すること。	

(参考) 鳥獣の捕獲実績(過去5年以内の主な鳥獣の捕獲実績を記入する)

①あなたが指導した鳥獣保護管理に関する捕獲(有害鳥獣捕獲、個体数調整など)の実績		
都道府県名	平成 年度 (出猟した日数 日)	
市町村名	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
②あなた自身の狩猟による鳥獣の捕獲実績		
都道府県名	平成 年度 (出猟した日数 日)	
市町村名	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
	捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にイノシシ、ニホンジカ、クマ、カワウ、外来獣の実績を記入する。</li> <li>・②については、申請者個人の捕獲実績を記入する。</li> </ul>	

(別紙2)免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項

(当てはまるものに☑を付ける)

特記事項 (免許・資格、研修受講歴)		
<b>狩猟免許</b> について (所持する免許に☑を付ける)		
<input type="checkbox"/> 第1種銃猟免許 (      年      月取得) <input type="checkbox"/> 第2種銃猟免許 (      年      月取得) <input type="checkbox"/> わな猟免許 (      年      月取得) <input type="checkbox"/> 網猟免許 (      年      月取得)		
<b>猟銃等の所持許可</b> について (猟銃・空気銃を所持する場合、所持許可証について記入する)		
原交付年月日 ( 昭和・平成      年      月      日 )		
銃の用途(当てはまる用途に☑を付ける) <input type="checkbox"/> 標的射撃 <input type="checkbox"/> 狩猟 <input type="checkbox"/> 有害鳥獣駆除		
<b>認定鳥獣捕獲等事業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー</b> について		
<input type="checkbox"/> 認定鳥獣捕獲等事業者 ( <input type="checkbox"/> 事業管理責任者、 <input type="checkbox"/> 捕獲従事者 ) <input type="checkbox"/> 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー (農林水産省)		
鳥獣保護管理法の違反歴について		
<input type="checkbox"/> 過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。		
取得年	月	その他の免許及び資格
入会年	月	所属学会
受講年	月	受講した研修・講習の名称
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウンセラー、環境再生医などを記載する。</li> <li>・記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付すること。</li> </ul>	

課題小論文用原稿用紙（手書用）

\*

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述して下さい。

総字数 \_\_\_\_\_ 字     専門分野 \_\_\_\_\_

論文タイトル \_\_\_\_\_


(20×20)

承諾書

平成 年 月 日

環境省自然環境局長 殿

住所

氏名

印

私は、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」に登録された場合は、様式第1-1号に記載された項目（氏名、連絡先の名称、役職、専門とする鳥獣（対象鳥獣）、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報）について、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。

# 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 登録申請書の記入要領

様式第 1-1 号(第4条第 1 項関係)

事務局記入欄。  
記入しないで下さい。

\*

鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書(個人用)  
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

写真

- 1.縦 36～40mm
- 2.横 24～30mm
- 3.本人単身胸から上

必ずふりがなを付して下さい。

3ヶ月以内に撮影した写真を貼ってください。写真裏に必ず氏名を記入して下さい。

(ふりがな) ※氏名	ちょうじゅう たろう 鳥獣 太郎	性別	男・女
生年月日	昭和・平成 40年 12月 2日生( 50歳)		
現住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 携帯電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇		
所属先	所属先名 株式会社〇〇〇センター 鳥獣対策課 役職名 鳥獣対策チーム長 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇		
※連絡先	連絡先名 株式会社〇〇〇センター 鳥獣対策チーム 役職名 鳥獣対策チーム長 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 e-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇		
※対象鳥獣	<input checked="" type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> カモシカ <input checked="" type="checkbox"/> ニホンザル <input type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種(ハクビシン、アライグマ) <input type="checkbox"/> その他(		
※活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input checked="" type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄		

「所属先」には、所属先名、所属部署、所属先住所、電話番号、を必ず記入して下さい。

都道府県等利用者から利用申込があった場合、その利用者に「連絡先」の情報を提供します。公表しても差し支えない情報を記載して下さい。  
※ホームページで公表されるのは、連絡先・役職名のみです。

をした鳥獣については、別紙1-2に、実績の詳細を記述して下さい。

※鳥獣保護管理活動の経歴（150字程度）

これまで行ってきた鳥獣保護管理に関する主な経歴等を150字程度に要約して記入して下さい。ここに記載された事項は、登録された場合に公表の対象となりますので、公表しても差し支えない事項について記載して下さい。

※特記事項、実績等に関する事項

(1) 実績に関する事項  
申請書添付資料 別紙1-2(鳥獣の捕獲等の指導に関わる実績)に記載。

(2) 特記事項  
申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項)に記載。

上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請します。

必ず自署又は記名押印して下さい。

平成●年●●月●●日

氏 名      鳥 獣      太 郎      ( 印 )

環境省自然環境局長      殿

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、実務経験のある種類について記載すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。



(別紙1-2)鳥獣の捕獲の指導に関わる実績

\*

(1)有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として捕獲の指導を実施した実績

平成 30 年3月31日までに、有害鳥獣捕獲等の捕獲隊(鳥獣被害防止特別措置法(農林水産省)による鳥獣被害対策実施隊を含む)の隊長として捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記述する。

◎捕獲隊の隊長として捕獲の指導に関わった期間の合計		8	年	*
①	地方公共団体名	●●県△△市		
	対象鳥獣	イノシシ		
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成 18 年度～ 21 年度		
	捕獲隊の名称	△△市イノシシ捕獲隊		
	指導内容及び成果	(1)～(3)のいずれか2つ以上の実績年数の合計が5年分の実績となるように記載して下さい。 ※5～6ページの申請要件・審査方法を参照。		
②	地方公共団体名	●●県△△市		
	対象鳥獣	ニホンジカ		
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成 15 年度～ 22 年度		
	捕獲隊の名称	△△市ニホンジカ捕獲隊		
	指導内容及び	指導内容の詳細を記述してください。 例えば、「●●県△△市の有害鳥獣捕獲隊の責任者として指導をした」という場合は、現場の指導者として捕獲従事者(猟友会等)を指導した内容(安全管理の指導、違反に対する指導、捕獲手法の指導等)や、捕獲目標数を達成するために、どのように対処しどのような結果が得られたのか、具体的に記述して下さい。		
③	地方			
	対			
	捕獲隊			
	捕獲隊の名称	□□町アノイグマ捕獲事業		
	指導内容及び成果			
備考	対象鳥獣はイノシシ、ニホンジカ、クマ類、カモシカ、ニホンザル、カワウ及び外来獣等			

(2)業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績

平成 30 年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績について、指導の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。

実績の詳細		*
事業名	〇〇個体数調整事業	
履行期間	平成 15 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 ( 1 か年度)	
発注機関	〇〇県	
受託者名	株式会社〇〇センター	
対象鳥獣	イノシシ	
実施時の所属・役職	株式会社〇〇センター 研究員	
<p>(1) ~ (3) のいずれか2つ以上の実績年数の合計が5年分の実績となるように記載して下さい。 ※5~6ページの申請要件・審査方法を参照。</p>		
事業名		
履行期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月 ( 年 度)	
発注機関		
受託者名		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
<p>指導内容の詳細を記述してください。 例えば、「ニホンジカの個体数調整事業を受託し、その現場の責任者として指導をした」という場合は、現場の監督者として捕獲事業の従事者(猟友会や民間事業者等)を指導した内容(安全管理の指導、違反に対する指導、捕獲手法の指導等)や、捕獲目標数を達成するために、どのように対処しどのような結果が得られたのか、具体的に担当業務について記述して下さい。</p>		
事業名		
履行期間		
発注機関		
受託者名		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職		
<p>様式1-1(11ページ)の対象鳥獣に☑した鳥獣について、実績の詳細を記述して下さい。</p>		
備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	

(3)－(ア)鳥獣被害防除対策等の指導を実施した実績

平成30年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣被害防除等の指導を実施した実績について、事業の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。

実績の詳細		*
実施主体名	〇〇県△△市	
実施期間	平成 15年 4月 ~ 平成 19年 11月 ( 5か年度)	
実施地域	〇〇県△△市	
対象鳥獣	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル	
実施時の所属・役職	株式会社〇〇センター 研究員～鳥獣対策チーム長	
<p>(1)～(3)のいずれか2つ以上の実績年数の合計が5年分の実績となるように記載して下さい。 ※5～6ページの申請要件・審査方法を参照。</p>		
実施内容	<p>従事者指導の内容及び成果、事業における自らの役割の詳細を記述して下さい。</p> <p>例えば、「△△県〇〇市鳥獣被害対策協議会の事業を受託し、当該市における有害鳥獣の被害対策指導を実施した。農村集落における被害発生状況の把握および集落診断に基づく有害鳥獣の侵入経路について調査を実施するとともに、効果的な防除柵の設置方法や廃棄作物の適切な処理方法などについて、地域住民に対する講習会を開催し講師として従事した。講習会を定期的で開催したことにより、地域住民の被害防除に対する意識が向上し、被害対策へと取り組む体制づくりに貢献することができた。」と具体的に指導内容と成果について記述して下さい。</p>	
実施主体名		
実施期間	平成 年 月 ~ 平成 年 月 (  か年度)	
実施地域		
対象鳥獣		
実施時の所属・役職	<p>様式1-1(11ページ)の対象鳥獣に☑した鳥獣について、実績の詳細を記述して下さい。</p>	
備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	

(3) - (イ) 地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師の実績

①	実施年月	平成 18 年 6 月	*
	講習会主催者名	〇〇県△△市	
	対象鳥獣	ニホンザル	
	講習会名	△△市ニホンザル農作物被害対策講習会	
②	実施年月	平成 22 年 7 月	
	講習会主催者名	〇〇県△△町	
	対象鳥獣	ニホンジカ	
	講習会名	△△町ニホンジカ捕獲技術講習会	
③	実施年月	平成 年 月	
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
④	実施年月	平成 年	講師の委嘱状または講習会の内容がわかる資料・案内等のコピーを必ず添付してください。
	講習会主催者名		
	対象鳥獣		
	講習会名		
備考	講習会講師の実績を証明するもの(委嘱状等)のコピーを添付すること。		

(3) - (ウ) 鳥獣保護管理員の勤務実績(該当する場合は記入する)

都道府県名	△△県	*
鳥獣保護管理員として勤務した年度	平成 18 年度 ~ 20 年度	
備考	鳥獣保護管理員の勤務実績を証明するもの(任命書等)のコピーを添付すること。	

(参考) 鳥獣の捕獲実績(過去5年以内の主な鳥獣の捕獲実績を記入する)

① あなたが指導した鳥獣保護管理に関する捕獲(有害鳥獣捕獲、個体数調整など)の実績		
都道府県名 〇〇県	平成 26 年度 (出猟した日数 10 日)	
市町村名 ■■市	捕獲種: ニホンジカ 捕獲した数: 3 頭(羽)	
	捕獲種: _____ 捕獲した数: _____ 頭(羽)	
	捕獲種: _____ 捕獲した数: _____ 頭(羽)	
② あなた自身の狩猟による鳥獣の捕獲実績		
都道府県名 △△県	平成 26 年度 (出猟した日数 15 日)	申請者個人の狩猟による捕獲実績を記入して下さい。
市町村名 **町	捕獲種: イノシシ 捕獲した数: 5 頭(羽)	
	捕獲種: アライグマ 捕獲した数: 3 頭(羽)	
	捕獲種: _____ 捕獲した数: _____ 頭(羽)	
備考	・主にイノシシ、ニホンジカ、クマ、カワウ、外来獣の実績を記入する。 ・②については、申請者個人の捕獲実績を記入する。	

(別紙2) 免許 (当

所持する種類に☑を付けて下さい。平成18年度以前の網わな免許取得者は、必ず両方に☑を付けて下さい。

特記事項 (免許・資格、研修受

第1種銃猟免許取得者は☑しないで下さい。第2種銃猟免許のみを所持する場合に☑して下さい。

銃猟免許について (所持する免許に☑を付ける)

第1種銃猟免許 (平成10年12月取得)  第2種銃猟免許 ( 年 月取得)

わな猟免許 ( 年 月取得)  網猟免許 ( 年 月取得)

銃等の所持許可について (猟銃・空気銃を所持する場合、所持許可証につ

取得年月を必ず記入して下さい。

原交付年月日 (昭和・平成) 10年 12月 12日

銃の用途 (当てはまる用途に☑を付ける)  標的射撃  狩猟  有害鳥獣駆除

認定鳥獣捕獲等事業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーについて

標的射撃、狩猟、有害鳥獣駆除のうち銃砲所持許可証に記載された用途に☑を付けて下さい。

認定鳥獣捕獲等事業者 ( 事業管理責任者、 捕獲従事)

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー (農林水産省)

鳥獣保護管理法の違反歴について

過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。

取得年	月	その他の免許及び資格
平成6	1	第4級アマチュア無線技士免許
平成15	2	生物分類技能検定1級 動物部門 哺乳・爬虫・両生類分野
平成19	2	ビオトープ計画管理士1級
入会年	月	所属学会
平成12	6	〇〇学会所属
受講年	月	受講した研修・講習の名称
平成15	7	〇〇県野生鳥獣被害対策指導者育成研修会
備考		<ul style="list-style-type: none"> <li>資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウンセラー、環境再生医などを記載する。</li> <li>記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付すること。</li> </ul>

## 課題小論文用原稿用紙（手書用）

\*

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述して下さい。

総字数 字 専門分野 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

論文タイトル \_\_\_\_\_

総字数、専門分野、論文のタイトルを記入して下さい。  
氏名は記入しないでください。

1,500字以上2,000字以内にまとめてください。

句読点は字数に含めます。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文の最後に添付して下さい。

知見審査では、以下の観点から審査を行います。

- ・読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか。
- ・文字数の極端な過不足はないか。
- ・野生鳥獣の保護・管理の現状についての基本的な理解ができているか。
- ・鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する計画等について理解できているか。
- ・順応的管理のあり方について述べられているか。
- ・今後の捕獲者の減少を踏まえ、捕獲を効果的、効率的に行うための体制(仕組み)づくりにどう取り組んでいるかを、事例に基づいて述べられているか。
- ・鳥獣保護管理において個体数調整、有害鳥獣捕獲等がどのような目的で実施されているかについて正しく述べられているか。
- ・捕獲業務(あるいは事業)の目的、重視した点が述べられているか。
- ・捕獲業務(あるいは事業)に従事する上での課題がわかりやすく整理されているか。

(20×20)

## 知見審査（小論文）の書き方ポイント

知見審査では各専門分野で指定されたテーマに沿った課題小論文を提出していただきます。

各テーマをよく確認し、鳥獣保護管理を実施する上で必要とされる事項について、具体的な課題や対応等について記述してください。ここでは、各専門分野の知見審査の書き方のポイントをまとめます。小論文を作成する際の参考にしてください。

### 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

- ✓ 読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか
- ✓ 文字数の極端な過不足はないか
- ✓ 明らかな違法行為と読み取れる内容が含まれていないか
- ✓ 野生鳥獣の保護・管理の現状について基本的な理解ができているか
- ✓ 鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する計画等について正しく理解できているか
- ✓ 順応的管理のあり方について述べられているか
- ✓ 今後の捕獲者の減少を踏まえて、捕獲を効果的、効率的に行うための体制（仕組み）づくりにあなたがどのように取り組んでいるかを実際の経験に基づいて述べられているか
- ✓ 鳥獣保護管理において個体数調整、有害鳥獣捕獲等がどのような役割をもち、またどのような目的で実施されているかについて述べられているか
- ✓ あなたが携わった捕獲業務（あるいは事業）を実施する上での重視した点や課題の対処について具体的に述べられているか
- ✓ 鳥獣保護管理に関する捕獲の現場において効率的な捕獲技術や被害防除の指導について、捕獲技術の向上だけでなく効果的な体制（アイデア、実際に構築したもの）について具体的に述べられているか

## 提出書類チェックシート



## 提出書類チェックシート

◎申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。

◎提出後の差し替えは一切認めません。

提出書類に不備や不足がないよう、郵送する前に必ず下記の表を利用して御確認下さい。  
特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。

番号	書類の種類	必要部数	チェック欄 ☑
①	申請書	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
②	申請書添付資料（別紙 1 - 2） ＜専門分野ごとに異なる＞	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
③	申請書添付資料（別紙 2） ＜免許・資格、研修の受講等＞	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
④	・免許・資格、研修の受講等を証明又は補完するもの ・委嘱を受けた各講習会の委嘱状等コピー (※申請書別紙 2 に記載した順番で添付してください。)	原本の写し 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
⑤	課題小論文または連携する民間資格・認証制度の認定証のコピー	原本 1 部	<input type="checkbox"/>
		副本 3 部	<input type="checkbox"/>
⑥	承諾書	1 部	<input type="checkbox"/>
⑦	審査結果通知用封筒 (長 3 ( 2 3 . 5 cm × 1 2 . 0 cm ) に申請者の連絡先、氏名を記入し、8 2 円切手を貼付してください。)	1 部	<input type="checkbox"/>

※番号①～⑤の原本を 1 セット、副本を 3 セットにまとめてご提出下さい。

※①～⑦までのすべての書類をもれなく送付してください。